

創刊100号
記念企画(1)

読者が選んだ人気商品トップ100

——編集部座談会…農業機械・資材、12年のトレンドを読む——

左の表は本誌創刊号以来、「商品

情報パドック」や「注目機・資材」、その他記事、あるいは広告の中で掲載された商品で、カタログ資料請求が多かった上位100位までのランキングである。創刊号から99号までに本誌で紹介された商品数は約1万件、問い合わせ件数は約10万件になる。以下、そのランキングを見ながらその商品が注目された背景や時代を振り返ってみよう。

K あらかじめ断っておくと、本誌は経営情報としての商品情報を提供することを創刊のテーマにしたわけだが、その時に「標準的な価格」を明示できない商品は掲載しないという原則で商品選択をしてきた。

A そういう原則を言い過ぎるから広告営業がやりにくい(笑)。

K でもね、たった12年前でも、農業メディアの商品情報に価格が載るのは異例のことだった。機械業界は

比較的早くから価格情報を出してき

たけど、農機やその他の資材となると、系統組織や各地の販売店などから文句が出るのでそれができない。

しかしそれは、単に系統組織を中心とする販売側の都合であり、それでは農家の立場に立った商品情報としては不十分だと考えた。だから、価格を出せないものは商品情報として掲載しないと決めた。それは本誌の姿勢を示すものでもあった。それ故にこのランキングでは農機や資材がほとんど出てこない。とは言え、農業資材の流通も変わってきたから、これからは少し考えを変えていかねばならないな。

また、創刊から数年間に登場した商品の資料請求数が多めに出ている傾向がある。それは、ある時期からなるべくメーカーのURLを明示するようになったので、それに伴い問い合わせ件数そのものが減ったとい

うこともある。

① 耕起・土作業機

B 前置きが長いですが。土作業関係の機械から見えていきましようよ。

K 本誌としてはプラウ耕の価値を声高に主張してきたわけで、スガノ農機(株)のプラウを中心とする製品への問い合わせが多いのも当然のことかもしれない。また、サブソイラより小さな馬力で耕盤破砕ができ、深りも上げられる「プラソイラ」という同社のヒット商品が出てきてからは、水田転作や過剰施肥で土壌が富

栄養化した園芸農家などの問い合わせが多くなった。また、農業機械の

踏圧で排水不良となった土壌の改善も、本誌がテーマとして扱ってきたことだが、それが転作大豆などで強く認識されたこともある。

B その後、水田の荒起こしをロータリではなくプラソイラやスタブルカルチでするというのも増えてきたしね。排水が良くなるだけでなく、ロータリと比べれば作業速度がはるかに早だし、過剰碎土も避けることができる。

C 4位の「ロータリソイラー」(株広洋エンジンアリング)は誰でもが持っているロータリに装着できるため、ロータリをトラクタから外したことの無い農家にも受けた。しかもロータリの駆動力が生かせるので牽引力が小さくて済む。さらに、サブソイラによる耕盤破砕とロータリでの表面碎土を一緒にできるとい

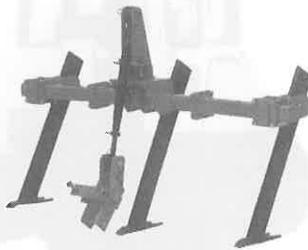


スガノ農機(株)の「プラソイラMPS2」
(資料請求番号 8)

読者が選んだ人気商品トップ100

発表！「農業経営者」1～100号までの
カタログ資料請求ランキングベスト100 (1～50位)

No.	請求数	商品分類	商品名	企業名
1	477	企業広告	農業は大地に鉄で彫る版面なり (プラウ他)	スガノ農機(株)
2	453	植物活性資材	HB-101	(株)フローラ
3	434	土壌分析機器	ミズツール、pFメータ	大起理化学工業(株)
4	433	心土破砕機	ロータリソイラー	(株)広洋エンジニアリング
5	401	トラクタ	ゴムクローラトラクタMKシリーズ	(株)諸岡
6	388	土壌改良資材	ソフトシリカ、リフレッシュ	ソフト・シリカ(株)
7	374	籾コンテナ	回転式ロンバッグ秋太郎	(株)三洋
8	349	土壌改良資材	アイデンカルス	リサール醸造(株)
9	316	溝掘機	ミゾホール	小関農機(株)
10	307	無線機	ケンウッド業務用無線	(株)ケンウッド
11	287	ポリシート張り機	スプレッター	(株)美善
12	262	草刈機	フェリーブームモア	(株)ピココンジャパン
13	256	ミニライスセンター	ナチュラルドライストッカー	エム・エス・ケー農業機械(株)
14	244	ハウス止め具	プルッパVP	小松合成(株)
15	229	ハウス止め具	マークリップ	エストリン(株)
15	229	ソフト	農業経営簿記	ソリマチ(株)
17	225	乾燥機用集塵機	ゴミ丸	(株)ホクエツ
18	221	フロントローダ	ロードマスター他	三陽機器(株)
19	203	籾穀散布機	ぬかまき	(株)熊谷農機
20	201	被覆資材	キエ丸	アテンド(株)
21	197	畦塗機	コンパス17QL、Gyro-TD	(株)富士トレーラー製作所
22	183	草刈機	自走二面あぜ草刈機ウイングモア-WM604	(株)オーレック
23	182	マニユアスプレッダ	ハイドロプッシュマニユアスプレッダDMT-6060	(株)デリカ
24	180	トラクタ	JCB FASTRAC	酒井重工業(株)
25	175	包装機	無酸素バック708S	こだま軽器工業(株)
26	169	代かき用木製整地板	美田号	エム・エス・ケー農業機械(株)
27	168	フロントドーザ	フロントドーザ	(株)キミヤ
28	164	乾燥機用集塵機	もみから積込機ML-2000M	イガラシ機械工業(株)
29	163	ポテトプランタ、培土機	馬鈴薯植付機/うね太郎	鋤柄農機(株)
29	163	トラクタ	ゴムクローラトラクタCT-95A	ヤンマー農機(株)
31	150	刈払機	TBC-224	タナカ工業(株)
32	148	刈払機、動力噴霧機	4ストローク刈払機、背負式動力噴霧機	本田技研工業(株)
33	147	ハウス換気装置	カンキット101	東都興業(株)
34	146	トラック用キャリア	ユニックキャリア	古河ユニック(株)
35	143	トラクタ	MF6180	エム・エス・ケー農業機械(株)
36	140	農薬	アミスター	シンジェンタ ジャパン(株)
37	139	ミニライスセンター	ドライバル	(株)山本製作所
38	137	心土破砕機	プラソイラMP2	スガノ農機(株)
39	136	ソフト	花だより 農業会計 for Windows95	(株)日立製作所
40	133	掃除機	スーパードットTK-800	タナカ工業(株)
41	132	ハウス止め具	クルピン	(株)福岡園芸
41	132	鳥獣害防止用資材	バードストッパー	大阪ウイントン(株)
41	132	被覆資材	バスライト	ユニチカ(株)
41	132	田植機用浮苗防止装置	アナウエくん	(株)イトー薬品商事
45	131	微生物資材	超高密度微生物応用基材BAX	(株)SOBO
46	128	穀物貯蔵用容器	コクモツバンク	コダマ樹脂工業(株)
47	126	作業工具	BH式らくらくレンチ	東備工業(株)
48	125	溶接機	小型半自動溶接機	小池酸素工業(株)
49	123	トラクタ	コマツ農業トラクタMKシリーズ	コマツ
50	122	ミニライスセンター	ライスダム	金子農機(株)



(株)広洋エンジニアリングの「ロータリソイラー」(資料請求番号64)

うのが魅力だ。同社について言えば、その後、ネギの掘取機から派生して、搬送コンテナと一体化した「枝豆収穫キャリア」や「タバコ残幹処理機」、そしてその考え方を再度ネギ収穫に反映させた「ネギ収穫キャリア」を開発している。これらの機種は対象

生産者が限定されるので数は少ないが、利用した読者の反応は良かった。A「ミゾホール」(小関農機(株))が9位につけているのも転作に伴う排水改善の関心から？ K ああ機械はもともとハザ掛けをする田圃を表面排水して乾かすため

の溝切機だったんだけど、転作の拡大につれて普及が広まった。A エム・エス・ケー農業機械(株)の畦塗機、(株)小川農具製作所の「カントリーブロックマスター」なども土関係の機械だよ。



(株)諸岡の「ゴムクローラトラクタMKシリーズ」

K 美田号に関しては実演会もやった。カントリーブロックマスターは畦際残耕処理機なのだけど、あれは畦のギリギリまで起こしたいという農家の気持ちをよく汲んだ機械だ。

② トラクタ

C そう言えば、5位のモロオカ(株)諸岡)のゴムクローラトラクタも踏圧の問題からでしょ。

K 創刊号から、クローラトラクタについてもその必要性を言ってきた。特にハイラグの四駆で無理やり作業をしてきた日本の農業には、踏圧が圧倒的に小さいクローラはすごく価値があるんだ。もともと、本誌に勧められて早い時代にモロオカの

クローラを買った読者からは、トラ

ブルも多くて随分批判も受けたっけ。でも、あの会社がクローラトラクタを商品化しなければその後のクローラの普及は無かった。その後、ヤンマーが丸ハンドルのフルクローラ、クボタがセミクローラを随分売った。北海道の勝部農場なんかでは早くから入れてたけど、CATの「チャレンジャー」(新キヤタピラー三菱(株)の導入が一部で始まっているし、ジョンディアのクローラが売られるようになったのもモロオカのお陰なんだ。彼らはモロオカに足を向けられないはずだ。

A トラクタ類では外車、それもあまり馴染みのないトラクタへの問い合わせが多い。

K 本誌読者ならではだろう。特に、北海道の展示会や北海道だけで売っているようなトラクタ。チャレンジャーもそうだけど、その他フィアットやMFなどのメジャーブランドより、ルノー、ランボルギーニ、フェンツ、JCBの「FASTRAC」(酒井重工業(株)などへの問い合わせが多かったね。売れてはいないかもしれないが。

③ 土壌診断・緑肥

K 本誌は土へのこだわりの一貫として、過剰施肥の弊害や農業経営者自身が行なう土壌分析の必要性について言い続けてきた。そんな関係で、3位にランクインしている大起理化学工業(株)の「ミズツール」や「PFメータ」他の商品に対する読者の関心も高く、我が社でも随分斡旋した。そもそも、そんな資材を売っているところが無かったのだ。

A ある時期に集中してだけど緑肥に関する問い合わせも多い。

K 本誌が緑肥を取り上げたのは早かった。季刊発行時代の8号(1994年12月号)で「緑肥全カタログ」という特集をしており、52種類の緑肥を写真と説明入りで紹介したが、その反応は大きかった。

③ カルチベーター

C 本誌のこだわりという意味では、府県農家にカルチベーターを紹介しようとしてきた。

K やつと最近になって(株)キューホーの小さなものから府県でも売れ始めている。しかし、58位に上がって



大起理化学工業(株)の「PFメータ」(資料請求番号〇〇)

いる東洋農機(株)の「大助」もあるけど、日農機(株)の「草刈るチ」などはすごい機械だ。また、みのもんたの産業界は岡山のメーカーだけど、同社の三輪田植機の走行部を活かしたミッドマウント式自走カルチは、北海道を中心に関心が高かった。もつと注目されるべきなのに。みのもんたはポット育苗苗の技術を援用した玉ネギの育苗システムと移植機など小さな技術を含めてユニークな機械の多いメーカーで、もつと取り上げなきゃ駄目だ。北海道メーカーは野菜移植機やプランタなど世界に自慢できる素晴らしい技術開発をしているが、府県にそのサービスのできる販売店が無く、その意味が評価されないでいるのは日本農業にとって損失だよ。

④ 草刈機

A 「フェリーブームモア」(株)ピコンジャパン)も12位に来ている。

読者が選んだ人気商品トップ100

「農業経営者」1~100号までの
カタログ資料請求ランキングベスト100(51~100位)

No.	請求数	商品分類	商品名	企業名
51	119	トラクタ	CATチャレンジャー45	新キャタピラー三菱(株)
52	118	マニユアスプレッダ	自走マニユアスプレッダDAM-350S	(株)デリカ
53	116	回転作業台	マワール	(株)大阪タイユー
54	115	ホイスト	チェーンブロック	(株)キトー
55	112	乾燥機	GIANT PRO-200	静岡製機(株)
55	112	耨摺機用ゴムロール	モミすりクッションロール	新興工業(株)
55	112	トラクタ	ルノ-CERES 95X-S	(株)中沢機械店
58	111	コンサルティング	農業経営、税務、相続に関する相談	全国農業経営コンサルタント協議会
58	111	フォークリフト	ファーマインDFC-500	(株)デリカ
58	111	中耕除草機	大助	東洋農機(株)
61	110	保冷库	クーリングペット	金子農機(株)
61	110	野菜収穫機	振動式ネギ掘取機MMO-300LG	(株)広洋エンジニアリング
63	109	作業服	ルアーテックス	(株)スイデン
64	108	プラウ	リバーシブルプラウRQS143CS	スガノ農機(株)
65	105	緑肥用種子	ハイオーツ、グリーンソルゴー、田助、ネマキング他	雪印種苗(株)
65	105	冷凍庫、保冷库	冷凍/冷蔵コンテナ	山和マリン(株)
65	105	農薬	グラスショート液剤	クミアイ化学工業(株)
68	104	施設	シラオイハウスST型	(株)シラオイ
69	103	チップパー	ガーデンリサイクラー	(有)国際工具
70	102	レール台車	トロッコ60	(株)ホクエツ
70	102	緑肥用種子	スダックス、マイロソルゴー他	カネコ種苗(株)
72	101	土壌改良資材	タマライト	奥多摩工業(株)
72	101	マスク	エアライト	三光化学工業(株)
72	101	ハウス止め具	リブラー	小松合成(株)
72	101	人カカート式スプレー	ピコMS-20	(株)サンエー
72	101	オイルタンク	軽油用超長脚高速給油タンク	(株)ホクエイ
77	100	温湿度計	温湿きろく君	大洋興業(株)
78	99	ハウス止め具	ビニーバンバン	(株)本多製作所
78	99	ライムソーワ	サンソーワ	(株)ジョーニシ
78	99	液肥混入装置	ドスマチック・プラス	東西産業貿易(株)
78	99	パレット用リフト	パレットレベラー	花岡車両(株)
82	98	刈払機アタッチメント	クサカリマン・プロ	松浦産業(株)
82	98	農薬	ダイハード顆粒	日産化学工業(株)
82	98	畦際残耕処理機	カントリーブロックマスター	(株)小川農具製作所
85	97	植物活性資材	アグリメイト	日本曹達(株)
85	97	被覆資材	ピアレスフィルム	日本ピアレス工業(株)
87	96	土壌改良資材	MTMキトサン	エム・エス・ケー農業機械(株)
87	96	堆肥切返機	ブラウンベアーコンポスター	(株)IDEC
89	93	噴口	切替畦畔噴口	ヤマホ工業(株)
90	92	トラクタ用キャリア	キャリアブリッジDCB-300	(株)デリカ
90	92	フィルム展張システム	レインボーソアラ	渡辺パイプ(株)
90	92	畦立機	PL-100	鋤柄農機(株)
90	92	刈払機アタッチメント	クサカリユーモβ	(株)アイデック
94	91	中耕除草機	ミッドマウント式自走カルチ	みのる産業(株)
94	91	除雪機	スノーラッセルGS型	(株)熊谷農機
96	90	苗箱コンテナ	ナエラック	ハラックス(株)
96	90	リフター	バキュームリフト	(株)ワンウィル
96	90	緑肥用種子	ラッキーソルゴー、ネグサレタイジ他	タキイ種苗(株)
99	89	穀物搬送機	モミトップ12他	(株)ホクエツ
99	89	植物活性資材	ピカコー	石水化学(株)

K 広告を何度も出していたけど、これはブームの先にモアが付いた大きな畦や法面用のトラクタ用草刈機。その後、三陽機器(株)も同様の機械を出していたが、読者の話を聞くと、基盤整備でやたら大きな土手のある水田が結構有るそう。ま

た、うちの読者たちだと、河川敷その他の草刈だとかを請け負っている人もいて、関心が高かった。

⑤ ライスセンター

A 本誌らしきという意味では、大規模農家用の乾燥調製設備への問い

合わせが多い。

K 7号(1994年9月号)でミニライスセンターの特集をやった。自然通風乾燥を組み合わせた「ナチユラルドリストッカー」(エム・エス・ケー農業機械(株))は珍しかったし、同時に紹介した金子農機(株)、

静岡製機(株)、(株)山本製作所などの貯留ビンを含めたいわゆるミニライスセンター用の設備に対する問い合わせが多かったね。あの頃は米の値段も高かったし、皆の関心も高かった。でも、最近になると、農業を止める農家から中古の乾燥機を集めてき

読者が選んだ人気商品トップ100

て、もっと安上がりな自前の設備でこなしている人もいるね。

⑥ マテリアル・ハンドリング

A ハンドリング関係も目立つ。

K 7位の軽トラックに搭載できる
 粉搬送バッグ「回転式ロンバック秋
 太郎」(株三洋)も関心が高かった。

創刊の頃はどの地域でもグレンタンク付きのコンバインがあたりまえになってくる時代だった。それまでに
 も粉搬送用コンテナは有ったけど、
 はるかに安いし、軽便だった。より
 小さなサイズのタンク付きコンバインも増えて、ユーザーが広がった。
 それから、コンベアやリフトといった一般産業界でマテリアルハンドリングと言われる分野への問題意識は農業の世界では遅れていた。一般の工場や作業所で当たり前に使われていた道具や設備を取り上げると反応したものだ。53位の(株)大阪タイユ一の「マワール」だとか、ホイスト、ウインチの類。あるいは作業性の高い運搬車としては、先に紹介した広洋のタバコ残幹処理機や、(株)デリカの「自走式マニアスプレッダ」などもその類だ。同じくデリカの「フア

ーミン」というクローラ型フォークリフト。売れた数は少ないかもしれないけど。それから空圧を使ったイガラシ機械工業(株)の粉搬送用機械は同社のオハコ技術だ。その他では、(株)熊谷農機の「ぬかまき」は、粉穀を田に還元する一時貯留兼搬送機。19位に入っている。ただし同様な機械は他にもある。

⑦ ソフト

C それと、経営者対象の雑誌だから、ソリマチ(株)の農業経営用パソコンソフトも注目を集めた。

K 「農業経営簿記」(15位)だけでなく、バラけてカウントされているため100位以内には入っていないが、「作業日誌分析」、「会計王」、「販売王」などの問い合わせも多い。その他、(株)日立製作所、富士通(株)等の製品にも最初の頃には問い合わせが多かった。

D 全国農業経営コンサルタント協議会というの？

K 最近我が社でも「農通コンサルティング」を始めたが、これは全国の農家を対象とする税理士さんたちの組織。こういうところに問い合わせ

せが来るのも本誌の特徴だね。

⑧ 小さな機械・資材

A その他で、特に印象が強かったものは？

K 実は、小さい商品だけどハウスのビニールを止めたりするクリップの問い合わせが多かったのが印象に残っている。前にも話したが、小さなメーカーで宣伝や営業力の無いメーカーは人の目に触れないので問い合わせが多かった。14位の小松合成(株)や15位のエストリン(株)などの商品がそうだ。

それから(株)ケンウッドの業務用無線を取り上げた号の反応は大きかった。家と作業所というだけでなく遠方に請け負い作業に出て行くこと多い農家にとっては、その当時すぐ関心が高かったわけだ。当時、ケンウッドの担当者こんな市場があるのだと驚かれて何度も広告が出た。でも、携帯が一般化するようになって下火になった。

A あまりに商品数が多く、紹介できない機械、資材類が多い。
 K そうだね。100位までに登場していないけど素晴らしい商品は沢

山ある。これをやがては、読者たちがインターネットなどで検索できるようなシステムを作るのが我らの役目だ。

B 本誌で商品情報を提供していく方法も変えていく必要がある。

K そうだ。かつて、農家のところに商品情報が無かったから本誌の情報欄の意義があった。それが分からない読者からは、メーカーから広告料を貰って掲載しているのではと誤解されたりもした。メーカーへのカタログ送付依頼も我が社の経費でやっていたのにな。でも、そのやり方も個人情報の問題もあって変えていく必要がある。営業熱心と言うか、エイ売込みをする企業もあるし。それから、これまではいわば商品情報のプロダクトアウトというべき形だったけど、これからは商品情報のマーケットインを考えよう。優れた農業経営者の経営を紹介し、その人から選ぶ機械や資材の意味を商品と共に示していく。一般的な商品情報も出すけど、101号目以降は、それを本誌の商品情報提供の形にしていこう。